

第71回 海洋教育フォーラム（広島）



商船高専・大学の練習船から 見た瀬戸内海的环境



「海洋教育フォーラム」とは一般の方へ海洋への関心を持っていただくために、日本各地で毎年行われているイベントです。今回の広島開催（広島では9回目）のフォーラムでは、新型コロナウイルスの影響で、昨年に引き続きオンライン開催となりました。フォーラムでは「商船高専・大学の練習船」に焦点をあてて5人の登壇者に語っていただきます。今まであまり語られなかった知られざる商船高専・大学の練習船の設備やその取り組みについて知っていただき、今後の練習船の積極的な活用などをみなさんと考えてみたいと思います。

日時：2021年12月4日（土）13:00～15:40

場所：オンライン開催（Teams）※オンライン受付は12:30～

対象：一般（定員80名）

参加費：無料（参加者には講演要旨集をさし上げます）

講演内容：

- 13:00～13:15 開会挨拶「うみのことをもっとみんなで知ろう」
（小林正典，日本船舶海洋工学会 海洋教育推進委員会，委員長）
- 13:15～13:45 瀬戸内海と練習船「広島丸」の歩んだ25年～船員養成・海事史・アマモ～
（清田耕司，広島商船高等専門学校，広島丸船長）
- 13:45～14:05 練習船を活用した瀬戸内海沿岸・離島における災害対応拠点化に関する研究
（北川美心，広島商船高等専門学校・商船学科5年生，
岸 拓真，広島商船高等専門学校・商船学科，講師）
- 14:05～14:25 練習船「広島丸」の超音波式多層流向流速計（ADCP）による瀬戸内海の潮流調査
（藤本潤，大島商船高等専門学校，専攻科2年生）
- 14:25～14:35 休憩
- 14:35～15:05 令和4年3月竣工予定の練習船・新「大島丸」で行える海洋環境調査について
（千葉元，大島商船高等専門学校・商船学科，教授）
- 15:05～15:35 広島大学 生物生産学部 練習船「豊潮丸」の設備と活用例
（小原静夏，広島大学大学院 統合生命科学研究科，助教）
- 15:35～15:40 閉会挨拶
（作野裕司，第71回海洋教育フォーラム実行委員会委員長）

参加申し込み（要事前予約）：

下記のURLサイト、E-mailにてお申込みください。E-mailの場合、見出しに「海洋教育フォーラム申込」と明記し、①氏名、②所属、③電話番号、④E-mailアドレス（オンライン対応のため、携帯ではなく、パソコンのメールアドレスをお願いします）をご記入の上、以下のE-mailアドレスにお送りください。締切は11/26（金）です。オンラインの参加方法は、お申し込み時に書かれたE-mailにWebアドレスをお送りしますので、クリックしてお入りください。当日は、12:30から受け付けます。

URL: https://www.jasnaoe.or.jp/jsn-event/20211204_mecc_hiroshima/

E-mail: ocean@naoe.hiroshima-u.ac.jp



共催：日本船舶海洋工学会 海洋教育推進委員会

広島大学大学院先進理工系科学研究科 輸送・環境システムプログラム、

広島商船高等専門学校、大島商船高等専門学校（申請中）